

おめでとう！ 創立三十周年式典

見守りキャップ入賞

見守りキャップのデザイン・キャッチフレーズ・標語を公募したところ多数の応募があり、次の方が入賞しました。

デザイン部門

小黒利香子 様

キャッチフレーズ部門

笠井吉正 様

標語部門

田村芽衣 様

齊藤款裕 様



青空に映える
ふるさと大看板と八石山

感謝状贈呈

地域活動に多大なご尽力があった次の方々に感謝状が贈呈されました。

- 中川 ナツ子 様
- 服部 淳一 様
- 伊平 智 様
- 庭山 清一 様
- 神林 昭子 様
- 関 スミ 様
- 村山 卓 様

「ふるさと大看板」の建立にご協力いただいた室員はじめ多くの方々には厚くお礼を申し上げます。

四月に「今年のコミュニティ三十周年の節目の年、それに建物の改築もある」と事務局から話があり、その記念事業として、地域の象徴となり長く残る看板を建立しようということになりました。

まず始めたことは、カメラを持ち、巻尺を持ち、看板の建っている他地域の見学からでした。

建立場所、大きさ、文字、どんな方法で、多くの人の意見を聴き、繰り返し検討を重ねました。アドバイスやご意見を聴きながらも迷いました。どなたももつともな意見、しかし微妙に異なり、試行錯誤しながら進めてきました。そんな中、何より助かったことは室員に真貝義巳さんが居られたことです。相談ができ、大工仕事は引き受けてもらい、本当に頼りになりました。

地域環境室 若月 忠二



大勢の地区民に見守られ受賞

「太陽の大きな両手で守りたい」気持の伝わるマークです。



この帽子の制作は教育振興室の事業の一つでした。地域の皆様に、日常生活の中で防犯活動に加わっていただくこと、特に子どもたちが安全で安心して登下校時を過ごせるように、気配り目配りの象徴としてこの「見守りキャップ」をかぶり日常作業や活動をしていただけたらと考えるしております。特別なことをしなくても回覧版を持ったり、田畑に出掛けたり、ゲートボールやワンバウンドの行き帰りなどに地域の子もたちを思いやり見守っていただきたいのです。これには大勢の人のご協力が何より大事です。

どうぞ地域で作った帽子「北条見守り・思いやりキャップ」を理解し、地域の子も達を思しんでください。

マーク、キャッチフレーズ、標語の募集に多くの方から応募していただき、ありがとうございました。

見守り・思いやりキャップ
帽子に込める
地域の思いやり！

教育振興室 丸山 智子